

公募型プロポーザルによる選定結果について

1 案件名称

「第 41 回なにわ人権展」事業業務委託

[契約期間 契約日から令和 8 年 3 月 19 日まで]

2 選定した受注予定事業者

一般財団法人大阪市コミュニティ協会

3 公募期間

令和 7 年 6 月 12 日から令和 7 年 7 月 24 日

4 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定会議の開催日

第 1 回：令和 7 年 6 月 5 日

第 2 回：令和 7 年 7 月 31 日

(2) 選定委員名簿（敬称略）

委員氏名	役職等
木村 多恵子	学校法人エール学園 校長
松川 晋作	人権擁護委員
藤本 正一	中小企業診断士

(3) 選定基準

審査項目	審査内容	配点	標準点
事業目的・内容 の理解 【10 点】	実施対象地域である 4 区（浪速・港・西・大正）における人権課題をよく理解し、本事業を実施することを通じて、「あらゆる差別・偏見のないまちづくり」をめざす基本的な姿勢が示されているか。	10 点	6 点
企画力・実施内容 【80 点】	なにわ人権展特設ホームページについて、サイトの構成、表記方法など、効果的かつ現実的な提案であるか。	特設ホームページ及び紙媒体 15 点	9 点
	紙媒体による情報発信について、紙面の構成、表記方法など、効果的かつ現実的な提案であるか。	【30 点】 15 点	9 点
	企画事業の提案内容は、専門性や独創性、関心や意識を高める目的の観点から、効果的かつ現実的な提案であるか。また、その事業規模は適切であるか。	15 点	9 点

	必須項目とする人権課題「多文化共生（外国につながる方の人権）」について理解しており、効果的かつ現実的な提案であるか。	10 点	6 点
	必須項目とする人権課題「インターネット上の人権侵害（同和問題）」について理解しており、効果的かつ現実的な提案であるか。	10 点	6 点
	必須項目とする人権課題「高齢者の人権（権利擁護）」について理解しており、効果的かつ現実的な提案であるか。	10 点	6 点
	上記必須項目以外で取り上げた人権課題について理解しており、効果的かつ現実的な提案であるか。	5 点	3 点
費用の積算根拠・経費計画等【5点】	積算根拠は効率的かつ妥当であるか 提案内容を確実に実行できる経費計画、実施スケジュールが立てられているか	5 点	3 点
類似業務の実績等【5点】	過去5年の類似・関連実績が妥当であるか	5 点	3 点
計		100 点	60 点

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

一般財団法人大阪市コミュニティ協会

全1者

(5) 審査結果（選定会議メンバーの評価点の平均）

審査項目	平均評価点
① 事業目的・内容の理解	7.3 点
② 企画力・実施内容	55.7 点
③ 費用の積算根拠・経費計画等	4.0 点
④ 類似業務の実績等	4.0 点
合計	71.0 点

(6) 付帯意見

●仕様書記載の「事業で取り扱う人権問題ア～エ」について、個別に取り上げるコンテンツを特設ホームページに掲載する等の企画を追加検討すること。

●提案の映画上映会について、より多くの区民が参加できるよう工夫すること。

●近年のインターネット上での人権侵害については看過できない状況であることから、タブロイド紙へ掲載を行う啓発記事等については浪速区役所担当者等と十分協議・調整を行うこと。

●区内市立小・中学校児童・生徒から募集した人権啓発作品のなにわ人権展特設ホームページでの掲載については、全作品が掲載できるよう浪速区役所担当者等と十分協議・調整を行うこと。
また、紙媒体（タブロイド紙）へ掲載するポスターの選定に当たっては、選定方法・選定経過に疑義が生じないようにすること。